

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命倫理	NLA11_008	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	教員控室	kango	Teams で質問相談等随時受付		
授業の目的・概要	<p>1. 問い 中絶に際し胎児の産まれ生きていく権利は？ 遺伝子を組み替えて優秀なわが子を産んではいけないの？ 自己決定権が強調される時代なのに自殺は何でいけないの？</p> <p>2. 目的 本科目は、受講生が現代社会の応用倫理的諸問題、とりわけ生命倫理上の諸問題に積極的に関心をもち、自分なりに調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。特に、看護師を目指すみなさんは、将来、生命倫理上の諸問題に正面からぶつかることになる。そこに所与の正解はない。しかし本科目をクリアすれば、看護師として行動する際の倫理的な構えを体得することができよう。大方の受講を強く勧める。</p> <p>3. 概要 ①人間論、②倫理学という基本を踏まえ、③現代社会が抱える応用倫理的諸問題を概観したうえで、④生命倫理の全体像・具体的諸相・現実的諸問題を体系的論理的に考究していく。終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。Group Presentation、Group Debate、Total Discussionという三形態を用意している。Exciting & thrillingな3回となろう、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	<p>1. 国内外の応用倫理的な諸問題をキャッチできるよう、高感度のアンテナを張っておくこと。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point Sheets を事前に up するので、予め目を通しておくこと。</p> <p>3. 事後の課題は、自分から調べ考えなければならないが、とても力がつくので、めげずに行うこと。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間論・倫理学について、基本的な事項を説明することができる。	HSU(1)(2)(5)、NS(1)(5)			
②	現代における応用倫理的諸問題について、さまざまな角度から調査・考察できる。	HSU(1)(2)(5)(6)、NS(1)(5)			
③	特に生命倫理の全体像・諸相・諸問題について、体系的に説明することができる。	HSU(1)(3)(5)(6)、NS(1)(3)			
④	生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまな発表・対論・討論することができる。	HSU(1)(4)(6)、NS(1)(2)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	科目の Guidance. 人間を学ぶ1 物質の展開	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
2	人間を学ぶ2 人類の地歴的展開	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
3	倫理を学ぶ1 義務論、帰結主義	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
4	倫理を学ぶ2 徳論、三者の比較。	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
5	現代経済倫理を学ぶ 企業の活動とその帰結(企業倫理、身心倫理、地球倫理)	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
6	現代国家倫理を学ぶ 政府の活動とその帰結(政府倫理、家族倫理、世界倫理)	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
7	現代意識倫理を学ぶ 科学の活動とその帰結(科学倫理、情魂倫理、存在倫理)	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
8	生命倫理を学ぶ1 全体像(四原則、諸問題、自己決定論)	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
9	生命倫理を学ぶ2 産む・産まれる(中絶、生殖補助技術、二診断)。	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
10	生命倫理を学ぶ3 生きる(再生医療、Clone・Enhancement、動物・薬物)。	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
11	生命倫理を学ぶ4 死ぬ(安楽死、脳死・臓器移植、自殺)。	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
12	Active Learning (AL) のための Guidance.	講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に解答し提出する。	4	
13	AL1 : Group Presentation.	発表	指定課題に取り組む。	4	

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

14	AL2 : Group Debate.	対論	指定課題に取り組む。	4				
15	AL3 : Total Discussion.	討論	指定課題に取り組む。	4				
試	期末 Report.							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	30	40	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力		0	10	10	0	10	30	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
✓ポート	①	✓					期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の質量等に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
成果発表	①	✓					[Presentation 力、Debate 力、Discussion 力] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・質疑応答の質量等に着目する。	Comment を付け、結果を公表する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①	✓					毎回提出する課題を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の質量等に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	なし。							
実践的授業の内容	なし。							
そ の 他	<p>1. 授業は教室対面方式であるが、課題等は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。</p> <p>念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>2. 受講人数、授業進展状況、授業環境等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。</p>							